

# 中学校第1学年 国語科 学習構想案

日 時 令和2年〇〇月〇〇日 (〇) 第〇校時  
場 所 〇年〇組教室  
指 導 者 教諭 〇〇 〇〇

## 1 単元構想

単元名	相手に分かりやすい話の組み立てを考えて伝えよう ～人生に役立つおすすめの「ことわざ」スピーチ～ <span style="float: right;">(光村図書 p115～120)</span>		
単元の目標	(1) 音声の働きや仕組みについて、理解を深めることができる。〔知識及び技能〕(1)ア (2) 自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的部分と付加的な部分、事実と意見の関係などに注意して、話の構成を考慮することができる。〔思考力、判断力、表現力等〕A(1)ア (3) 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。「学びに向かう力、人間性等」		
単元の評価規準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	① 音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。(1)ア	① 「話すこと・聞くこと」において、自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的部分と付加的な部分、事実と意見の関係などに注意して、話の構成を考えている。(A(1)ア) ② 「話すこと・聞くこと」において、必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて自分の考えをまとめている。(A(1)エ)	① 進んで自分の考えや根拠が明確になるように、話の中心的部分と付加的な部分に注意し、学習の見直しをもって、話の構成を考えようとしている。
<b>単元終了時の生徒の姿</b>			
他教科の学習においても、自分の考えを説明するとき、何について話すのかを明確にした上で、例示と結論部分に分けるなど、相手にとって分かりやすいように話を順序よく組み立てて物事を説明しようとする生徒の姿。			
単元を通した学習課題		本単元で働かせる見方・考え方	
相手にとって分かりやすい話の組み立て方で、人生に役立つおすすめのことわざスピーチをしよう。		分かりやすく説明するために、話題の順序、接続詞等に着目し、自分の伝えたいことの内容に合う言葉を選択することをとおして言葉への自覚を高める。	
<b>指導計画と評価計画 (6時間取扱い 本時4/6)</b>			
過程	時間	学習活動 (「問い」を設定しても可)	評価の観点等 ★は記録に残す評価の場面で「具体的評価規準」
見通す	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ これまでの学習を想起し、物事を分かりやすく伝えるスピーチの条件を確認するとともに、本単元の目標を確認する。</li> <li>○ また、既知の「ことわざ」についての事例を出し合い、「ことわざ」のもつ価値を再確認し、人生に役立つ「ことわざ」の推薦スピーチをするという学習活動の見直しをもつ。</li> </ul>	【態①】(ノート) 【思①】(ノート)
挑戦する	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分が人生に役立つと考える「ことわざ」を辞書などから探し、伝えたい自分の考えをまとめる。</li> <li>○ グループ内で、選んだ「ことわざ」についての体験談などを出し合い、スピーチの材料を集めるとともに、人生に役立つポイントをまとめる。</li> <li>○ <b>「3」の活動で集めた材料を基に、具体例を挙げて順序立てて話すための構成メモを作る。(本時)</b></li> <li>○ グループ内でスピーチの練習をし、相手にとって分かりやすくするという視点で、スピーチの内容や話し方を協議し、修正する。</li> </ul>	★【知①】(スピーチ) ○ はっきりした発音、抑揚や緩急などの音声の働きや仕組みについて、理解を深めている。 ★【思①】(ノート) ○ 人生の役に立つと考える理由を明確にし、具体例をいくつか挙げて、順序立てて話の構成を考えている。 ★【思②】(ノート) ○ 友達のスピーチの説明に対して、合いの手や聞き返しをしながら話の内容を捉えている。 ★【態①】(ノート) ○ 進んで自分の考えを分かりやすく伝えるための具体例やその順序に注意し、学習の見直しをもって、話の構成を考え、修正しようとしている。
振り返る	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 人生に役立つことわざ推薦スピーチをし、感想を交流する。</li> <li>○ 単元で身に付けた力を振り返る。</li> </ul>	【思②】(ノート) ★【態①】(ノート) ○ 進んで自分の考えを分かりやすく伝えるための具体例に注意し、学習の見直しをもって、話の構成を考えようとしている。

## 2 単元における系統及び生徒の実態

学習指導要領における該当箇所(内容, 指導事項等)	
中学校学習指導要領第1学年 [知識及び技能] (1) 言葉の特徴や使い方に関する事項 ア [思考力, 判断力, 表現力等] 「A 話すこと・聞くこと」ア, エ	
教材・題材の価値	
本教材は, 日本の文化に根付いた味わいのある言葉である「ことわざ」を, 意味やそれに関わる自身の体験等を説明し, 人生にどのように役立てるかについてスピーチするものである。スピーチの練習場面において, 相手にとって分かりやすい内容や構成になっているかについてグループで協議している学習活動の例も示されている。 実生活においても同様の検討をすることにより, よりよいスピーチとなるよう活動することが考えられるため, 実生活を想定したスピーチの学習をすることに適した教材である。	
本単元における系統	
<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">             小6年 今, 私は, ぼくは 資料を使って, 自分の考えや思いを 効果的に伝える           </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; width: 100%;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">             中1年 会話が弾む質問をしよう 話の内容が深まったり広がったり するような, よりよい質問をする           </div> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; width: 30%; text-align: center;"> <b>中1年 具体例を挙げて伝えよう</b>              具体例を取り入れ,              順序立てて話を組み立てる           </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">             中1年 話し合いで理解を深めよう              お互いの体験や考えを出し合って              整理する           </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; width: 60%;">             中2年 説得力のある提案をしよう              聞き手の立場や考えを想定して,              説得力のある話を組み立てる           </div> </div>	
児童の実態 (単元の目標につながる学びの実態)	
<b>■本単元を学習するにあたって身に付けておくべき基礎・基本の定着状況</b>	
項 目	定着状況 (概ねできている) %
音声の働きや仕組みについて, 理解を深めている。	
自分の考えや根拠が明確になるように, 話の構成を考えている。	
必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉えている。	
<b>■本単元の学習に関する意識の状況</b>	
進んで学習の見通しをもって, 話の構成を考えようとしている。	
<b>■考察</b> 自分の考えを伝えるために, 話の構成などについて自分なりに工夫しているが, 話の内容を捉えたり, 必要に応じて質問したりについては, 不十分な状況が見られる。このため, 本単元を通して, 指導事項を明確にした指導が必要である。 進んで話の構成を考えるためには, 自らが話したいという意欲を持つことが重要である。相手意識や目的意識をもって取り組めるよう, 単元の導入時には「何のために」「誰に」自分の考えを伝えるのかを生徒と共有することが必要である。	

## 3 指導に当たっての留意点

- 人生に役立つ「ことわざ」について, 自分の考えと理由を中心に学級のみならずに伝えるという目的意識・相手意識を明確にすることによって, 主体的に学習に取り組めるようにする。
- 単元の導入時に, これまでの学習で身に付けたことを振り返り, 相手にとって分かりやすいスピーチのポイント(順序, 具体例, 話し方等)を明確に示すことで, 単元で身に付けるべきことについて課題意識を高めるようにする。
- 毎時間, 相手にとって分かりやすいスピーチのポイントについて個人だけでなくグループでも振り返りを行い, 学習の進度, 状況を生徒自身が把握できるようにし, 自身の学習の調整に生かせるようにする。
- 聞き手においても, 分かりやすい順序立てた話の組み立てとなっていたかを聞き方のポイントの中心とし, 助言に生かせるようにする。
- 物事を分かりやすく説明する日常場面について想起させることで, 本単元の学習が今後の実生活でも役立つことを実感できるようにする。



4 本時の学習

(1) 目標 前時までに集めた材料を基に、具体例の順序に注意し、聞き手に分かりやすく伝える効果的なスピーチの構成メモを作ることができる。

(2) 展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される生徒の発言)	指導上の留意事項 (学習活動の目的・意図、内容、方法等)
導入	10分	<p>1 学習の目標を確認する。</p> <p>①単元の導入時に活用した教科書教材の文例(p114)を基に、事柄ごとに整理して順序よく話すことについて振り返る。 ◇単元の最初に、相撲の「ルール」や「技」などの事柄のまとまりに整理するだけで分かりやすい内容になることを学習したなあ。</p> <p>②前時で集めた材料を基に、順序よく組み立てた構成メモの例を確認し、本時の活動の見通しをもつ。 ◇大まかな構成は「ことわざの意味」「具体例」「結論」だけど、具体例も順序よく組み立てたいな。</p>	<p>○数名の生徒が書いた前時までの学習の振り返りの内容を基に、事柄ごとに整理することで、相手にとって分かりやすい構成になることを実感した単元導入時の場面を想起できるようにする。</p> <p>○「ことわざの意味」「具体例」「結論」というスピーチ全体の構成に加え、学級全員で具体例を事柄ごとに整理する場面を設けることで、具体例の整理や順序も、相手にとって分かりやすいスピーチにつながることに気付くようにする。</p>
<p><b>【めあて】聞き手に分かりやすく伝える効果的なスピーチの構成メモを作ろう。</b></p>			
展開	30分	<p>2 目標の達成に向けて活動する。</p> <p>①自身の考えを持つ。 ◇Aさんから出された体験は、「灯台下暗し」と童話「青い鳥」を結び付けたものだった。このような例は聞いている人も興味を持ってくれるだろうけど、他の「物を無くした時」の事例を先に伝えてからの方が理解してくれそうだな。</p> <p>②他者との対話により、考えを広げる。 ◇Bさんは、「青い鳥」の事例は、幸せがそばにあることに気がつきにくいという教訓が、「灯台下暗し」の意味と人生で役立つという内容を一番分かりやすくまとめていると言っていた。私とは考えが違っていたけど、納得した。</p> <p>③自身の考えを再度まとめる。 ◇Bさんの考えを取り入れてみよう。ほかの事例は、「ほかにも、○○や○○のように」としてまとめて示すことにしよう。</p> <p><b>【期待される学びの姿】</b> よりよく内容を伝えるための話題の順序に着目し、対話をとおして、自分の伝えたい内容に合うよう事例を選択している。</p> <p>④構成メモの工夫した点を確認合う。 ◇「私の工夫点は、自分の伝えたい内容に一番よく合った事例を最初に示したことです。こうすることで…」</p>	<p>○生徒自身が伝えたい内容は何かを確かめてから、具体例の順序を考えるようにすることで、構成メモの結論との整合性が図られるようにする。</p> <p>○対話については、普段の話し方で話し合うようにすることで、意見を出しやすい雰囲気づくりを行う。</p> <p>○「私が結論で言いたいのは○○という内容で、そのための具体例の順序を□□のように考えました。その理由は～だからです。」などの説明文例を示し、円滑に対話が進むようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><b>【具体の評価規準】観点【思①】</b> ○人生の役に立つと考える理由を明確にし、具体例をいくつか挙げて、身近から間遠や間遠から身近にするなど聞き手を意識して順序立てた話の構成を考えている。(方法：ノート)</p> </div> <p><b>【到達していない生徒への手立て】</b> ○前時までに集めた具体例の中から、良いと思うものに順位を付けることで、その一つずつと自身が伝えたいことが合うかを個別に問い、確認していく。</p> <p>○全体場で数名の生徒の構成メモの工夫した点を紹介し、内容に合わせた具体例かどうか、分かりやすい順序となっているかを確認できるようにする。</p>
終末	10分	<p>3 まとめと振り返りをする。</p> <p>◇振り返ると、「例えば…」で具体例を述べる時に、無意識に伝えたいことに合う事例を選んでいたなあ。 ◇具体例を入れるだけでなく、自身が伝えたいことを伝え、聞き手にとって分かりやすくするために、内容にあった順序にすることが大切だと分かりました。</p>	<p>○スピーチの場面だけでなく、実生活の他の場面でも自分の考えを分かりやすく伝えるために、具体例を入れていたことを想起させることで、学習したことを生かそうとする態度につなげるようにする。</p> <p>○数名の生徒の振り返りの内容を紹介し、本時の目標に沿ったことを積極的に認めるようにする。</p>
<p><b>【まとめ】伝えたいことが相手に伝わるスピーチにするためには、身近から間遠にしたり、間遠から身近にしたりと、具体例の順序を工夫して組み立てることが大切。</b></p>			

【板書計画】

<p>振り返り</p>	<p>「まとめ」伝えたいことが相手に伝わるスピーチにするためには、身近から間遠にしたり、間遠から身近にしたりと、具体例の順序を工夫して組み立てることが大切。</p>	<p>Rさんの工夫</p> <p>○みんなが予想だにしない「童話」を最初に事例として挙げることで、驚きをもって聞いてもらえるのではないか</p> <p>Yさんの工夫</p> <p>○自分の伝えたい内容に一番よく合った事例を最初に示したことで、まずは聞いている人に理解してもらおう</p>		<p>★何を伝えたいのか</p> <p>「◆」のことが人生の役に立つ</p> <p>★なぜそのことが役立つのか</p> <p>★具体例を順序よく組み立てる</p> <p>どうしてその順序がいいのかな？</p>	<p>「めあて」聞き手に分かりやすく伝える効果的なスピーチの構成メモを作ろう。</p>	<p>相手に分かりやすい話の組み立てを考えて伝えよう 人生に役立つおススメの「ことわざ」スピーチ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>全体の構成</p> <p>○ことわざの意味</p> <p>○具体例</p> <p>○結論</p> </div> <p>「ルール」や「技」などの内容 ことにまとめ、 順序立てた</p> 
-------------	--	---	---	--	---	--

【ICT活用計画】

<p>教師による教材提示の計画，ICTを活用した発表，まとめ等による考えの共有の計画等</p>
<p>○ 本単元の導入場面では，教師によるスピーチの例を動画で示し，物事を分かりやすく伝えるスピーチの条件を想起しやすいようにする。</p> <p>○ 本単元の展開場面では，発音，速度，間の取り方などの話し方の工夫を確認する際に導入場面で用いた動画を再度使用する。</p> <p>○ 本時の導入場面では，大型テレビに教科書の例文を拡大表示し，「ことわざの意味」「具体例」「結論」という大まかな構成を確認できるようにする。</p>

【見方・考え方を働かせて解く適用問題等の計画】

<p>例：単元の終末では，見方・考え方を働かせて次の学習に取り組む</p>
<p>文部科学省作成 振り返り学習教材 国語 2 自分が住んでいる町のよさを紹介するスピーチの問題</p>